

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【公表番号】特表2009-522697(P2009-522697A)

【公表日】平成21年6月11日(2009.6.11)

【年通号数】公開・登録公報2009-023

【出願番号】特願2008-549646(P2008-549646)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

G 0 6 F 3/048 (2006.01)

G 0 6 F 3/023 (2006.01)

H 0 3 M 11/04 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/041 3 3 0 C

G 0 6 F 3/048 6 2 0

G 0 6 F 3/023 3 1 0 L

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月3日(2010.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

タッチセンシティブディスプレイと、

1 又はそれ以上のプロセッサと、

メモリと、

前記メモリに記憶され、前記 1 又はそれ以上のプロセッサにより実行されるように構成されたプログラムと、

を含み、前記プログラムは、

少なくとも複数のアイコンのサブセットの中のそれぞれのアイコンが、2 又はそれ以上の記号に対応するような前記複数のアイコンをタッチセンシティブディスプレイ上に表示するための命令と、

前記それぞれのアイコンに対応するユーザによる前記タッチセンシティブディスプレイとの指接触を感知するための命令と、

前記指接触の位置がさらに対応する、前記 2 又はそれ以上の記号の中のそれぞれの第 1 の記号を決定するための命令と、

前記指接触がそれぞれの第 1 の記号に対応することを示すように前記表示されたそれぞれのアイコンを変更するための命令と、

を含み、前記変更することは、

それぞれのアイコンの形状を前記それぞれの第 1 の記号の方へ非対称的に歪曲することと、

それぞれの第 1 の記号を拡大することと

を含み、さらに、

前記接触している指がユーザによって異なる位置へローリングされている場合には、前記それぞれのアイコンの前記 2 又はそれ以上の記号の中の第 2 の記号に対応する、前記それぞれのアイコン内の異なる位置への前記指接触の変化を検出するための命令と、

前記指接触のそれぞれの現在の位置に対応するそれぞれの記号を選択するための命令と、
を含む、
ことを特徴とする携帯用電子機器。

【請求項 2】

ユーザが前記それぞれのアイコンとの指接触を中断した場合に、前記それぞれの記号を選択するための命令をさらに含む、
ことを特徴とする請求項 1 に記載の機器。

【請求項 3】

前記指接触が所定値を超える時間間隔の間維持された場合に、前記それぞれの記号を大文字にするための命令をさらに含む、
ことを特徴とする請求項 1 に記載の機器。

【請求項 4】

前記それぞれの記号を、前記それぞれのアイコンの形状の内側、かつ前記指接触に対応する領域の外側の領域に表示するための命令をさらに含む、
ことを特徴とする請求項 1 に記載の機器。

【請求項 5】

前記それぞれのアイコンの初期形状は、弧を含む、
ことを特徴とする請求項 1 に記載の機器。

【請求項 6】

前記指接触は、指の 1 回又はそれ以上の指のタップ、スワイプ、及びローリングからなるグループから選択されるジェスチャを含む、
ことを特徴とする請求項 1 に記載の機器。

【請求項 7】

命令を含む 1 又はそれ以上のプログラムを記憶したコンピュータ可読記憶媒体であって、前記命令は、タッチセンシティブディスプレイを有する機器により実行された場合、該機器に、

少なくとも複数のアイコンのサブセットの中のそれぞれのアイコンが、2 又はそれ以上の記号に対応するような前記複数のアイコンをタッチセンシティブディスプレイ上に表示し、

前記それぞれのアイコンに対応するユーザによる前記タッチセンシティブディスプレイとの指接触を感知し、

前記指接触の位置がさらに対応する、前記 2 又はそれ以上の記号の中のそれぞれの第 1 の記号を決定し、

前記指接触がそれぞれの第 1 の記号に対応することを示すように前記表示されたそれぞれのアイコンを変更する、

という動作を行わせ、前記変更することは、

それぞれのアイコンの形状を前記それぞれの第 1 の記号の方へ非対称的に歪曲することと、

それぞれの第 1 の記号を拡大することと

を含み、さらに、前記機器に

前記接触している指がユーザによって異なる位置へローリングされている場合には、前記それぞれのアイコンの前記 2 又はそれ以上の記号の中の第 2 の記号に対応する、前記それぞれのアイコン内の異なる位置への前記指接触の変化を検出し、

前記指接触のそれぞれの現在の位置に対応するそれぞれの記号を選択する、
という動作を行わせる、

ことを特徴とするコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 8】

ユーザが前記それぞれのアイコンとの指接触を中断した場合に、前記それぞれの記号を選択するという動作を前記機器に行わせる命令をさらに含む、

ことを特徴とする請求項 7 に記載のコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 9】

前記指接触が所定値を超える時間間隔の間維持された場合に、前記それぞれの記号を大文字にするという動作を前記機器に行わせる命令をさらに含む、
ことを特徴とする請求項 7 に記載のコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 10】

前記それぞれの記号を、前記それぞれのアイコンの形状の内側、かつ前記指接触に対応する領域の外側の領域に表示するという動作を前記機器に行わせる命令をさらに含む、
ことを特徴とする請求項 7 に記載のコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 11】

前記それぞれのアイコンの初期形状は、弧を含む、
ことを特徴とする請求項 7 に記載のコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 12】

前記指接触は、指の 1 回又はそれ以上の指のタップ、スワイプ、及びローリングからなるグループから選択されるジェスチャを含む、
ことを特徴とする請求項 7 に記載のコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 13】

タッチセンシティブディスプレイを有する電子機器において、
少なくとも複数のアイコンのサブセットの中のそれぞれのアイコンが、2 又はそれ以上の記号に対応するような前記複数のアイコンをタッチセンシティブディスプレイ上に表示するステップと、

前記それぞれのアイコンに対応するユーザによる前記タッチセンシティブディスプレイとの指接触を感知するステップと、

前記指接触の位置がさらに対応する、前記 2 又はそれ以上の記号の中のそれぞれの第 1 の記号を決定するステップと、

前記指接触がそれぞれの第 1 の記号に対応することを示すように前記表示されたそれぞれのアイコンを変更するステップと、

を含み、前記変更することは、

それぞれのアイコンの形状を前記それぞれの第 1 の記号の方へ非対称的に歪曲することと、

それぞれの第 1 の記号を拡大することと

を含み、さらに、

前記接触している指がユーザによって異なる位置へローリングされている場合には、前記それぞれのアイコンの前記 2 又はそれ以上の記号の中の第 2 の記号に対応する、前記それぞれのアイコン内の異なる位置への前記指接触の変化を検出するステップと、

前記指接触のそれぞれの現在の位置に対応するそれぞれの記号を選択するステップと、
を含む、

ことを特徴とする方法。

【請求項 14】

ユーザが前記それぞれのアイコンとの指接触を中断した場合に、前記それぞれの記号を選択するステップをさらに含む、

ことを特徴とする請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

前記指接触が所定値を超える時間間隔の間維持された場合に、前記それぞれの記号を大文字にするステップをさらに含む、

ことを特徴とする請求項 13 に記載の方法。

【請求項 16】

前記それぞれの記号を、前記それぞれのアイコンの形状の内側、かつ前記指接触に対応する領域の外側の領域に表示するステップをさらに含む、

ことを特徴とする請求項 13 に記載の方法。

【請求項 17】

前記それぞれのアイコンの初期形状は、弧を含む、
ことを特徴とする請求項 13 に記載の方法。

【請求項 18】

前記指接触は、指の 1 回又はそれ以上の指のタップ、スワイプ、及びローリングからなるグループから選択されるジェスチャを含む、
ことを特徴とする請求項 13 に記載の方法。